

みずき便り第31号の作成状況を報告します

企業団広報誌「みずき便り」では、今年度からは企業団設立50周年に向けて、企業団の歴史を紐解いていく特集を企画し作成しています。

第1回目で「企業団の設立」、第2回目で「近代水道の始まり」と、過去を振り返ってきましたが、第3回目は、企業団の「今」と「これから」に目を向けました。

今回は2月2日（土）に三ツ境庁舎で、小学生を議員として企業団についての質疑を行う「子ども議会」を開きました。

ご協力いただいた伊勢原小学校、石田小学校の皆さん、誠にありがとうございました。



まずは会議室に集まり、小学生たちを企業団子ども議会の議員に任命。さらにその中から一人を議長に任命しました。

さっそく、議員から議長に対し、企業団施設の調査依頼を提出してもらい（写真右上）、調査依頼に基づき、企業団子ども議会議員による施設見学のスタートです。



災害対策室に移動し、企業団の業務概要と、災害への備えについて説明。（写真左下）

水運用センターの施設見学では、県内の水運用についてを説明しました。（写真右下）

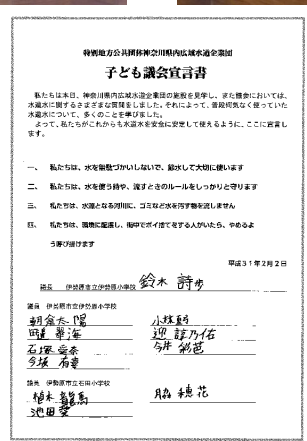
その他、無線設備の鉄塔、小水力発電設備等を見学しました。

議場に移動し、議会の流れや発言の仕方を確認し、実際に通しでリハーサルを行いました。初めての議場の雰囲気になんとか緊張していた様子でしたが、本番では、堂々と質問を読み上げていました。（写真は練習の様子）



練習も終わり、いよいよ、子ども議会の開会です。まずは開会に当たり、企業長から挨拶をし、早速質疑に入りました。質疑では、水質や災害対策、これからの水道事業についてなどの質問に、吉川企業長ほか関係課長たちが答弁しました。

詳しい内容は、みずき便り31号でご覧になれるので発行をお楽しみに。



最後に子ども議会の議員たちが作成した宣言書を読み上げ、吉川企業長に提出しました。

今回は『こども議会』という形で小学生たちに子ども議員になってもらい、企業団の「いま」と「これから」についてを施設見学と議会での質疑を通じて学んでもらいました。

今、自分たちが住んでいる神奈川県の水道の現状と課題、そして私たち企業団が課題についてどのように取り組んでいるかを理解していただけたのではないのでしょうか。また次世代を担う小学生たちに、企業団の仕事を知ってもらうきっかけにもなったと思います。約10年後、今回の子ども議員たちが進路を決めるときに企業団がその候補の一つになればとてもうれしいです。